

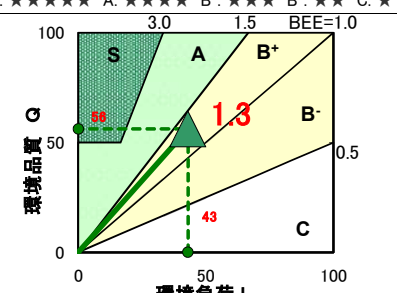
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市学校給食センター	階数	地上1F
建設地	神奈川県横須賀市平作5丁目1221番20	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域/第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	90人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,200時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年9月11日
敷地面積	14,984㎡	作成者	株式会社 梓設計
建築面積	4,118㎡	確認日	2020年9月11日
延床面積	3,874㎡	確認者	株式会社 梓設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

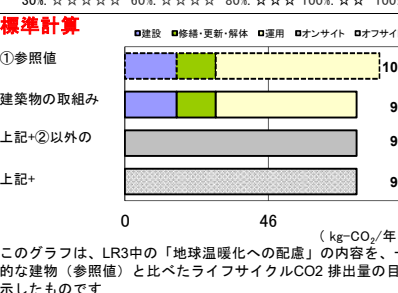
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

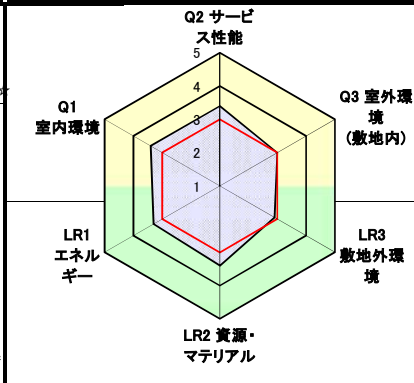
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

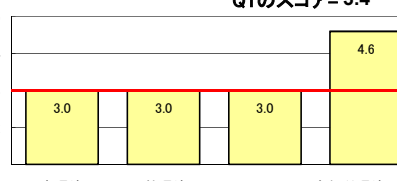


2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

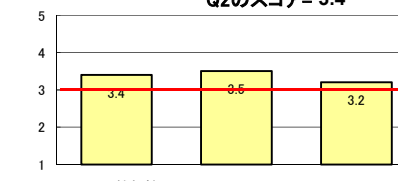
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4



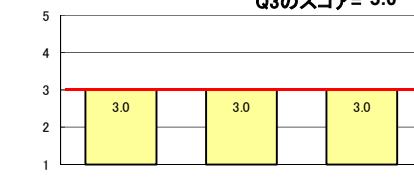
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4



Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0




LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2


LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3



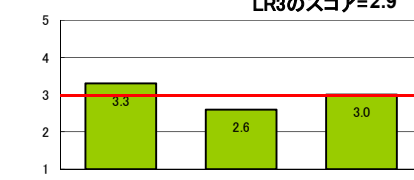
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9



3 設計上の配慮事項		
総合 住居地域に建つ給食センターであるため、平屋建ての低層構成とし周囲への日照条件に配慮しつつ、特徴的なファサードによる地域への顔づくりや既存樹保全及び積極的な緑化を図り良好な環境を創出		その他 0
Q1 室内環境 衛生的な観点から自然光を取り入れられない給食エリアを除き、積極的に外光を取り入れる工夫と、シックハウスに配慮した内装材の採用を実施	Q2 サービス性能 作業従事者は窓のない空間で調理にあたるため、休憩スペースや眺望に配慮した食堂等リラクセススペースに配慮した計画とするとともに、維持管理や更新性にも十分配慮した仕上、仕様選定を実施	Q3 室外環境 (敷地内) 既存樹の積極的保全、及び敷地内の緑化により既存風景の緑を維持し周辺環境に配慮した計画とする。また防犯性についてもカメラや外周フェンスにより対策を実施
LR1 エネルギー BEMSの採用や維持管理企業との連携により実情のエネルギー使用状況把握と、省エネ化を図る対策を実施する予定。(運用段階)	LR2 資源・マテリアル 非構造部材へのリサイクル材の適用や、解体時における分別性に配慮した内装計画を実施。	LR3 敷地外環境 臭気、騒音に関するシミュレーションを実施し、確実に基準値を下回る施設計画であることを確認。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される